

令和7年度 浜松市立佐藤小学校運営協議会

【日時】 令和7年12月12日(金) 13:30～15:30

【会場】 浜松市立佐藤小学校 会議室

【次第】

I 日程等説明 13:30～13:35

説明【教頭】

II 授業参観 13:35～14:05

※ 自由参観となります。授業一覧や教室配置図をもとに、参観をお願いします。

III 学校運営協議会 14:10～15:30

全体司会【教頭】

※開催要件確認

1 会長挨拶

2 校長挨拶

3 議長の選出

4 前回会議録の確認

5 熟議(説明→質疑・熟議→承認)

進行【議長】

(1) 本年度の学校の様子・児童の様子から、学校・地域でできること

(学校に関するアンケート結果や第2回熟議の内容を受けて)【校長・大石】

① 相手のよさに気づき認め合う子に育てるために、地域・家庭でできること

② 夢や目標を持つ子に育てるために、地域・家庭でできること

~~-(2) SNSを中心に学校・家庭でできること~~

(3) 学校支援ボランティアの充実について【安富】

6 報告

7 連絡

(1) 学校運営協議会の次回以降の日程について 【大石】

第4回 2月12日(木) 9:00～11:00

(2) 学校公開について

○ 参観会 2月13日(金)13:05～

令和7年度 浜松市立佐藤小学校運営協議会委員等名簿

【学校運営協議会委員】

役 職	氏 名	ふりがな	備 考
会 長	尾上 弘	おのうえ ひろし	
副会長	酒井 里江子	さかい りえこ	
委 員	伊藤 安男	いとう やすお	
委 員	湯山 紀美代	ゆやま きみよ	
委 員	一ノ瀬 正行	いちのせ まさゆき	
委 員	鈴木 涼介	すずき りょうすけ	
委 員 学校支援CD	安富 小織	やすとみ さおり	

【オブザーバー】

東部協働センター コミュニティ担当	神谷 匠	かみや たくみ	
----------------------	------	---------	--

【学校職員】

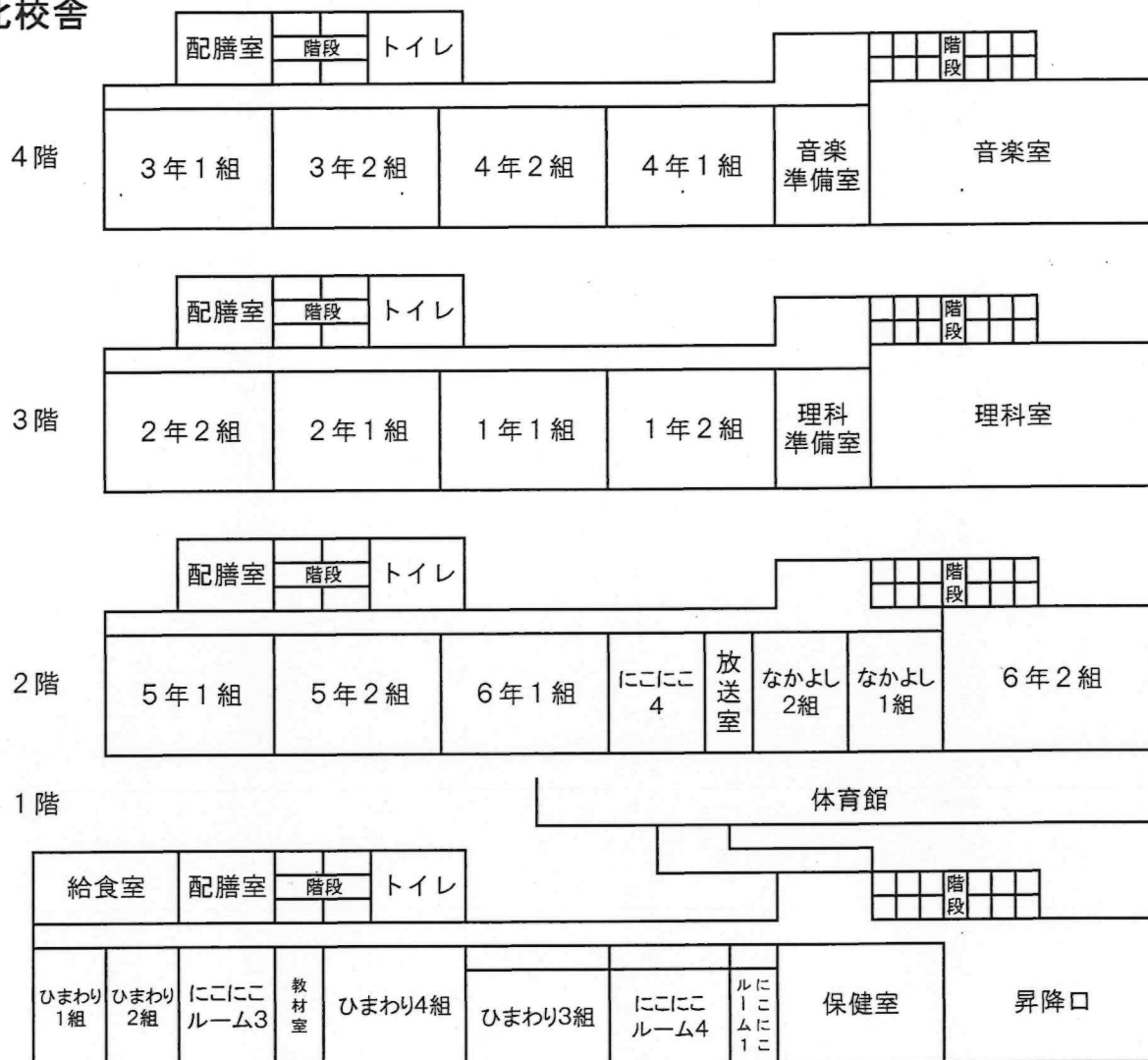
校 長	松下 欣美	まつした よしみ	
教 頭	高木 康泰	たかぎ やすひろ	
教務主任 CS担当教員	大石 葉子	おおいし ようこ	
CSディレクター	坂倉 祥子	さかくら しょうこ	

【浜松市教育委員会】

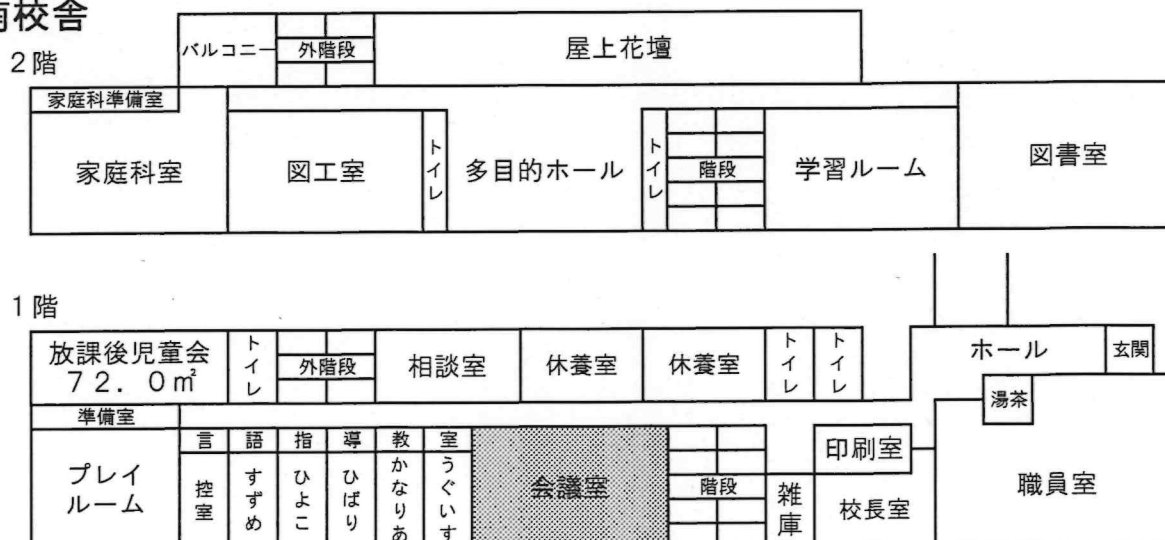
担当指導主事	鈴木 陽子	すずき ようこ	
--------	-------	---------	--

教室配置図

北校舍



南校舍



【授業一覧】

学 級	教 科	単元名	指導者	会 場
1 年 1 組	生活	おもちゃランドへようこそ	安宅 佳子	1－1 教室
1 年 2 組	生活	おもちゃランドへようこそ	加藤 哲平	1－2 教室
2 年 1 組	書写	字をじょうずに書こう	切島実保子	2－1 教室
2 年 2 組	体育	ボールはこびおに	井上 結羽	体育館
3 年 1 組	外国語	What's this?	大川 博	3－1 教室
3 年 2 組	算数	□を使った式と図	伊堂 凜	3－2 教室
4 年 1 組	音楽	せんりつの重なりを感じ取ろう	袴田 文子	音楽室
4 年 2 組	国語	冬の楽しみ	定盛 紀子	4－2 教室
5 年 1 組	算数	割合	足立美有紀	5－1 教室
5 年 2 組	理科	ふりこの性質	土屋 美結	5－2 教室
6 年 1 組	学活	1 年生のおもちゃランドに行こう！	柴田 将矢	1 年生教室
6 年 2 組	学活	1 年生のおもちゃランドに行こう！	鈴木 里実	1 年生教室
なかよし1	国語	1、2 年 カタカナをおぼえよう 4 年 漢字パズルを完成させよう	高杉 美香	なかよし1 教室
なかよし2	国語	カンジーはかせの音訓かるた	安間 知己	なかよし2 教室
ひまわり1	国語	1 年 たぬきの糸車 2 年 体育(2－2と交流)	高藤 知子	ひまわり1 教室
ひまわり2	国語	短歌・俳句を楽しもう	齋藤 真未	ひまわり2 教室
ひまわり3	算数	3 年 □を使った式と図 4 年 2 学期の復習	泉澤 孝典	にこにこ2 教室
ひまわり4	家庭	5 年 みそ汁をつくろう 6 年 計画した 1 日分のこん立(主菜)をつくろう	高崎 理英	ひまわり4 教室

令和7年度 第2回 佐藤小学校運営協議会 会議録（要点記録）

1. 開催日時 令和7年7月23日(水) 13時25分から15時25分まで
2. 開催場所 浜松市立佐藤小学校 会議室
3. 出席委員 尾上 弘、酒井 里江子、伊藤 安男、湯山 紀美代、安富 小織、一ノ瀬 正行、
鈴木 涼介
4. 欠席委員 なし
5. 学 校 松下 欣美（校長）、高木 康泰（教頭）、大石 葉子（CS担当）、
坂倉 祥子（CSディレクター）
6. 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
7. 傍聴者 なし
8. 会議録作成者 CSディレクター 坂倉 祥子
9. 議長の選出

尾上会長から議長を務めることを申し出、全員意義なく承認した。

10. 協議事項

- (1)「教育課程中間評価」の概要
- (2)協議 ①地域の宝を生かした教育活動を進めるために、学校・保護者・地域ができること
②自分のよさを見つけられる子を育てるために、学校・保護者・地域ができること
- (3)教職員と協議した2点について、保護者・地域が取り組むことと具体的な方法、役割分担を決定する。

11. 会議記録

司会の教頭から、委員総数7人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 「教育課程中間評価」の概要

議長の指示により、大石から、別紙資料に基づき教育課程中間評価について説明があり、今後の課題について共通理解した。

(2) 協議 ①地域の宝を生かした教育活動を進めるために、学校・保護者・地域ができること

②自分のよさを見つけられる子を育てるために、学校・保護者・地域ができること

職員を交えた4つのグループに分かれ、①・②について協議を行い、各グループの代表者がまとめを発表した。

Aグループ この地域の伝統産業や緑道活動を生かして、地域に貢献できるような活動が出来たら良い。

学年をまたいだ発展的な学習として取り組む事で、子供たち自身が地域の一員として主体的に関与しようという育てていきたい。地域との関わり方を考える過程が、コミュニティの一員として役に立っていこうという生涯学習へ繋がると考えている。

Bグループ ①キャリア教育をしていく上で地域の事業所の方にお話を伺いたいが、異動がある職員には難しい現状がある。地域住民でなければ知りえない情報を記録に残すなど、地域や保護者と協力出来たらありがたい。②相手の良さを見つけることが自分の良さに気づくきっかけになるので

はないか。相手に伝える手段を言葉だけでなくカードにするなど工夫したり、声を互いに掛け合うことで充実感を持って生活していったほしい。

Cグループ 学校側の要望を整理整頓していきながら地域の人へ伝えることで、人が人を呼び、広がっていったらと思う。総合学習等を通じた地域との関わりを生かしていくためには、数年後に控える創立100周年を一つのきっかけにするなど、学校が地域を知り、地域に要望を伝えていく事が必要なのではないか。

Dグループ ①地域の祭りなど、子供たちにとっては生まれた時から当たり前にあるものを、素敵な事、宝なんだと価値づける事ができるのは学校なのではないか。②子供たちが家に帰って話したくなるような、家庭で自然と褒められる環境になるように、子供たちが成功体験を積める教育活動や場を作っていけたら良い。

(3) 教職員と協議した2点について、保護者・地域が取り組むことと具体的な方法、役割分担を決定する

教職員との協議について、委員からは以下の発言があった。

安富委員 創立100周年が閉鎖的になってしまった学校のイメージを変え、地域の人が入ってくるきっかけになれば良い。またボランティアに関して、学校からの細かい要望を待っていたら募集の期間が短くなり、間に合わない。ザックリとしたイメージの段階でも良いので年単位のスパンで声をかけてくれた方が繋げやすい。

伊藤委員 創立100周年に関して、立ち上げの具体的な話は出ている。また学校側とも話を詰めていきたい。

尾上委員 例えば地域の中で夏休みラジオ体操クラブ等を作りチラシを学校で配ってもらって、佐藤小の子供たちに参加してもらおう。子供会や学校に任せっきりになるのではない、そういったグループが町内出来れば、子供が参加してくれて喜ぶ人もたくさんいるし、自然と関わり合える機会になるのではないか。

熟議の結果、創立100周年記念について、学校と協議しながら具体的な進め方を検討していく事。教職員と協議した課題をもとに、今年度・来年度に取り組める具体的な方法について引き続き話し合う必要があるとされた。

また安富委員より夏休み期間中に紙媒体でのボランティア募集を行いたい意向が示され、全員異議なくこれを承認した。

その他報告事項

次回会議は、令和7年12月16日(火)佐藤小学校会議室で開催する旨の報告があり、開催時間については現在調整中であるため決まり次第改めて連絡予定とした。また、今後の学校公開、さとっこわくわくコンサート・参観会についての案内があった。

さとっこ ちょこつと 通信 増量版

～一人一人のよさやちがいを大切にします編～ 2025.11.10

朝会 校長の話

11月の朝会では、校長が、学校教育目標「かがやく子」の具現に向けて子供たちに「自分らしさ」を大切にすることについて話をしました。その中で、2冊の本を紹介しました。

一人一人の
よさやちがいを
大切にします！

「わたしはあかねこ」(サトシン作、西村敏雄絵 文溪堂)

白色の母猫と黒色の父猫から生まれた赤ちゃん猫。白や黒、白と黒のぶちの兄弟の中で一匹だけ赤猫がいました。赤猫のことをかわいそうに思った母猫が白色のミルクを飲ませたり、父猫が黒い魚を食べさせたり…。でも、赤猫は、自分の色が大好きでした。だから、赤猫は、お母さんやお父さんの言動を不思議に思っていました。ある日、赤猫は家族のもとを離れて暮らすことにしました。そんな中、赤猫は青猫と出会います。赤猫の毛並みを大好きと言ってくれる青猫。赤猫は、すごくすごく幸せな気持ちになりました。長く長くいっしょに過ごした2匹。いろいろな色の赤ちゃんが生まれて幸せに暮らしました。

「じぶんであるっていいかんじ きみとジェンダーについての本」

(テレサ・ソーン作、ノア・グニ絵、たかいゆとり訳 エトセトラックス)

顔や体の色がちがう人、車いすに乗っている人…。様々な人が出てくる本。

ルーシーは、生まれてきたときは男の子。でもしばらくして「自分は、女の子だよ。」と話してくれました。ザビエルは、生まれてきたときは男の子。大きくなるにつれて、「ぼくは、やっぱり男の子だよ。」と話しました。JJは男の子でも女の子でもない。「自分は自分だよ。それが自分らしさなんだ。」

「からだ」だけでなく、「こころの中」もちがうんだよ。ちがっていいんだよ。かけがえのない自分。自分のことは自分で決めていいんだよと、校長から子供たちに話をしました。

○「自分」って、すばらしい。だから、自分・友達が決めたことや思いを大事にしてほしい。

○「自分であること」「自分らしさ」は、大事にされること。

○あなたは、すばらしい存在。だから、「自分」も「まわりの人」もすばらしい。

そんな大切なあなたはどの子も、校長先生の自慢の子供たち！！

○不安な思いをしている人がいたら、話を聞いてあげてほしい。「大丈夫だよ。」と言ってあげてほしい。そんなさとっこのみんなでいてほしい。これは、キャリアの「かかわろう！」の力「みつめよう！」の力につながる。

○校長先生は一人一人のよさやちがいを大切にします！！佐藤小の先生もみんな同じ気持ち。

○自分も友達もかがやくためには、一人一人が笑顔の学校になることが大切。みんなの力を貸してほしい。

こんな話を子供たちにしました。子供たちは真剣に聞いていました。

「あなたは すばらしい！」

じぶん
「自分」

ほか ひと
「他の人」

そのままでもいいよ
いっしょにしよう！

「かかわろう！」の力

「みつめよう！」の力

さとっこマナー

- ① えがおで あいさつ
- ② ありがとう、ごめんなさい
- ③ じかんを まもる
- ④ ばを きよめる
- ⑤ あんげんに すごす
- ⑥ みんな なかま
- ⑦ きもちを かんがえる

朝会後の学級では… (一部紹介します)



1年生の教室より

「体育好きな人？」と担任。「はい。」と手を挙げる子供たち。「体育嫌いな人？」とまた担任。「はい。」こちらも別の子が手を挙げて…。それを見た体育が好きな子は、思わず「えー！？」「体育が好きな子も、嫌いな子もいるんだよね。」「人によってちがうんだね。」と子供たち。「ゴジュウジャーを知っている人？」と担任。「はい。」と手を挙げる子。え？という表情をする子。「同じことでも人によって感じ方は違うんだね。」「自分のあたりまえは、みんなのあたりまえではないんだね。」担任と子供たちとの話はまだまだ続いていました。

4年生の教室より

「赤猫のこと、最初はかわいそうだと思っていたけど…」とある子が話し始めます。「赤が好きなことは自分が決めたことだよね…。」「赤猫は、青猫と出会って自分のよさを認められてよかったよね。」と別の子。「自分らしさを大切にしているからこそ、自分のよさを認めてくれる人との出会いがあったのかもしれないね。」「自分のことを見つめてみるとどうかな。毛の色は目に見えるけど、目に見えないちがいもありますね。」と担任。

子供たちの表情は真剣そのもの。話は続いていました。



なかよし・ひまわり学級の教室より

担任 「家族がみんなかわいそうって言うていたけど、どんな言葉を言われるとうれしいと思う？」子供たち「かっこいいね。」「かわいいね。」「すてきだね。」

担任 「一人一人、自分のことを大好きになって大事にしてほしいな。そして、まわりにいる友達のこととも大事にしていこうね。」

2年生の教室より

担任 「自分を大切にすることは他人を大切にすることでもあるんだよ。なぜかな。」

「それは、みんなが『自分』だからだよ。」

子供たち「ランドセルの色とか行動とかマナーとか…。男女は関係ないよ。そんなの自分で決めていいんだよ。」「自分が好きなのでいいんだよ。」「人に言わないよ。そんなことを言うのは昔だよ。」「男とか女とか自分で決めることだよ。」

3年生の教室より

子供たち「自分は、ありのままでいいんだと思ったよ。」

「親猫は赤猫が大切だから白か黒にしようと思ったと思うけれど、赤猫にとっては嫌だったんだね。相手の気持ちを理解するって難しいって思ったよ。」

5年生の教室より

子供たち「一人一人、みんなちがうから世の中はおもしろいんだよ。そういうちがいで差別するのはよくないと思ったよ。」

「アンケートで性別を聞かれるときに、『男・女・どちらでもない(答えたくない)』と書いてあるのを見たことがあるよ。」

担任 「自分があたりまえと思っていることを人に押し付けるのではなく、対話をしながら理解し合おうとすることが大切なんだね。」

「みんなの思いを真剣に聞いてくれる大人は、たくさんいるよ。」

子供たち「ルーシーのような人は、女風呂に入るのかな？」

担任 「確かに難しい問題だね。まだまだ、社会の環境が整っているとはいいいがたいですね。難しい問題だからこそ、整えるのに時間がかかってしまうんだろね。でも、そのことで、つらい思いをしている人が今もいるってということだね。…」

6年生感想より(一部抜粋)

○自分らしくまわりの人と比べずに生活していきたい。ほかの人のよさをたくさん見つけ、その人に伝えていきたいです！

○佐藤小ではないと思うけど、もしそういう(いじめの)現場を見かけたら声掛けできるようになりたいです！！！！

○校長先生の話聞いて、ジェンダーについてもっと理解しようと思いました。これからは、ジェンダーへの理解を深め、もし悩んでいる人がいたら助けたいと思います。

○理解が広がることで、少しでも生きやすくなる人が多くなるといいなと思いました。

○もし誰かに差別されたりいじめられたりしても、それを支えてくれる人がいるし助けてくれる人がいる、わかってくれる人がいるということだと思いました。

○ジェンダーについての本では、JJが世間にとらわれずに「自分は男の子でも女の子でもない」と言っているのがすばらしく感じました。自分の魅力・自身やまわりの人の魅力などを尊重し過ごしていきたいなと思います。

○JJのお話は、男の子でも女の子でもないと言っていて、自分らしく生きるとはとても大事ななと感じました。性別とか関係なく、個性を尊重して生きていることに感動しました。これからは、自分らしくありのままに生きようと思ったし、個性を大事にしようと思いました。また、人のいいところをたくさん見つけようと思いました。

○自分にとって普通でも、相手は不快な気持ちになることもあるから、発言や行動には十分気をつけなければいけないなと思いました。校長先生は、さっと全員のことを思ってくれているんだなと思いました。

今号は、子供たちと担任の思いがあふれ、“ちょこっと”ではなく、“増量版”になってしまいました。ここまでお読みいただき、ありがとうございました。